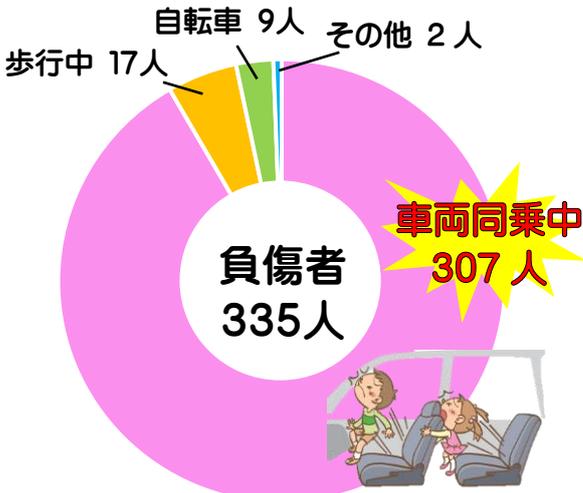


こうつうあんぜん かてい 交通安全は家庭から

< 幼稚園児事故 >



令和6年中の静岡県内の交通事故

幼稚園児の交通事故は車両同乗中が**9割以上!**

6歳未満の子どもを車に乗せるときは、チャイルドシート使用が**法律で義務付けられています**。チャイルドシート・ジュニアシートは正しく装着し、**着用ミスによる怪我の恐れ**を未然に防ぎましょう。

歩行事故・自転車事故も決してゼロではありません! 日常の中での声掛けや意識付けで、お子さんに**“交通安全”**を身近に感じさせてあげましょう。

こうつうじこ あ お 交通事故に遭わない・起こさないための

おやこ まな
親子で学ぼう!

3つのおきて♡



なか こた こうつうあんぜん
~○の中を答えて交通安全のおさらいをしよう~

1. 道路や駐車場では○を繋ぐ!



2. 道路を渡る時は
○○○・○をあげる・みる



3. 車に乗ったら○○○○○○○○

静岡県交通安全協会 伊豆中央地区支部

交通安全チェックポイント

普段の行動を振り返りながら交通安全の意識を高めましょう!



□子どもの目線に立って見る

大人からは見えている車も、**子どもからは見えていない**ことがあります。子どもの目線に立って、**見えない危険**を教えてあげましょう。



大人の目線



子どもの目線

子どもの視線も意識しましょう!



□具体的に分かりやすく教える

子どもは「危ないから気を付けて」などの抽象的な言葉では、完全に理解することが出来ません。どこが危ない場所か、車がどこから走って来るか、**具体的に伝えましょう。**

□大人が見本となって実践

子どもは**大人の行動を見て、真似をします**。「横断歩道を渡る」「青信号が点滅したら渡らない」など、自分自身が**お手本となる行動**をしましょう。



「交差点は後ろや前から来る車に気を付けよう!」



□手を繋いで歩く

子どもの一人歩きは大変危険です。まずは、子ども自身が**「親につかまれている」**ではなく**「自分が握っている」**と思えるよう、声掛け等を工夫してみましょう。

「手を繋いで歩いてほしいな」



子どもの手離し防止!
安全な手の繋ぎ方



①親指を子どもに握らせる ②人差し指と中指で手首をつかむ

駐車場や横断歩道など危険箇所での飛び出しを防ぎましょう!

□適切なチャイルドシートの着用

チャイルドシートを使用している場合でも、正しく着用できていないと、**大きな怪我に繋がります**。お子さんの**からだに合ったチャイルドシート**を着用させましょう。

Check!

- ◎ハーネスベルトの高さ・緩みは適正か
- ◎ハーネスベルト・シートベルトにねじれはないか
- ◎チャイルドシートにぐらつき・緩み等はないか



ハーネスベルト

チラシ作成には、会員の皆様からいただいた会費等を活用させていただいています。

その他、交通教室など当協会の活動をホームページに掲載しています。是非ご覧ください。

